

## びわこ豊穡の郷のホームページがリニューアルしました。

持続可能な団体を目指し取り組んだ、基盤強化の活動で、早急に取り組まなければならない課題の一つに、発信力の弱さがありました。この課題解決のため、2017年度よりホームページのリニューアルに向けて準備を進めてきました。その新しいHPの更新作業が完了しました。フェイスブックやブログ「ほうじょうの日々」と連動しイベント案内や様子も、確認し易くなりました。また、今まで掲載できていなかった研修受入や、講師派遣などの情報や水質調査などの結果なども案内しています。今後しばらくは微調整を続けながら、更に利用しやすいホームページを目指します。是非一度、覗いてください。

URL : <http://www.lake-biwa.net/akanoi/>

## 「ほうじょう米」いかがですか？

今年初めて取り組んだ田んぼづくりで、6俵のお米が収穫できました。新米の私たちの作ったお米です、うまく出来たのか分かりませんが、毎日ごはんを食べる度に、「なんて甘くて美味しいんだろう！」と感激しています。お値段も初心者価格で勉強させていただいていますが、更に会員の皆さまにはお安くさせていただきます。愛情だけは、農家さんに負けないくらい掛けました。是非一度ご賞味ください！ご希望の方は事務所でメールまたはお電話を！お待ちしております！

びわこ豊穡の郷 Tel 077-583-8686 Email [houjyounosato@lake-biwa.net](mailto:houjyounosato@lake-biwa.net)

## 第16回川づくりフォーラム開催のご案内 - 守山と環境学習 -

日時：2019年2月17日（土）13：30より（受付13：00）

場所：守山市生涯学習・教育支援センター（エルセンター）

基調講演：滋賀県立大学 瀧 健太郎 准教授

活動発表：小津小学校・せせらぎの郷 須原・滋賀大学 津田綾香・ほたるの森資料館

詳細が決定しましたら、びわこ豊穡の郷ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどでご案内します。お楽しみに！

## 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦（春編）

日時：2019年3月2日（土）9：00～11：30

場所：赤野井湾・小津袋一帯（湖岸、湖上）

内容：清掃活動とオオバナミズキンバイ除去作業

集合場所：もりやま芦刈園



## しじみのひとりごと

みんな気が付いているのだろうか？年齢（とし）が知れるが石原裕次郎の『風速40メートル』が今簡単に超えられていることを。体温を上回る気温、雨量計に溢れる雨がニュースで騒がれている事を。これらを『想定外の出来事』と言う言葉だけで片付けているように思える。過去琵琶湖に赤潮が発生した時はもっと真剣に取り組んできたのに。もう『石鹼』程度の運動で解決する問題ではなくなっているのに。地球が出している警鐘に気付いているのだろうか？秋風が吹きだすと今度は寒さに関心が移り『暑さ』は衣替えで衣装箱の中へ片付けられる。 M.T

## これからの活動

2019年

川づくりフォーラム……………2月19日（日）

赤野井湾・小津袋クリーン大作戦（春）

……………3月2日（土）

水辺の楽校（春編）……………3月23日（土）

石田和正さん

秋深く 柿の葉静かに肩に落ち  
赤き実もぎ取る夕映えの畑

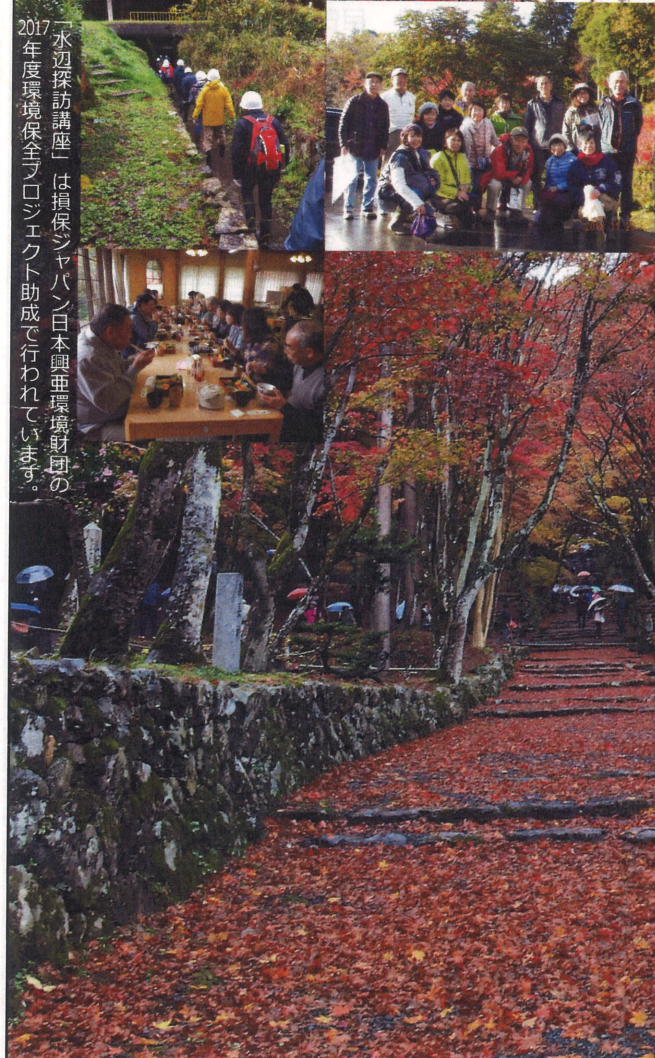
# 豊穡の郷 Vol.85

2018年8月15日発行 発行部数 1,500部  
12月1日 1,700部

発行 認定 NPO 法人びわこ豊穡の郷 E-mail [houjyounosato@lake-biwa.net](mailto:houjyounosato@lake-biwa.net)  
理事長 金崎いよ子 URL <http://www.lake-biwa.net/akanoi/>  
住所 守山市勝部五丁目10番地25号  
TEL 077-583-8686（有線 583-8686）  
FAX 077-558-5007

1面 第3回 水辺探訪講座  
2面 水辺の楽校・秋・夏編、世界湖沼会議  
3面 水辺の探検会、春が待ち遠しい、ほたるの森の仲間たち  
4面 HPリニューアル俳句、これからの活動、しじみのひとりごと

「水辺探訪講座」は環境ボランティア日本国連環境財団の2017年度環境保全プロジェクト助成で行われています。



# 紅葉の鶏足寺と西野水道に行きました

水辺探訪講座 ③

11/23 金

晩秋の守山を2台のマイクロバスに分乗した20名は9時過ぎ、湖北巨木巡りに出発。車中、樹木Dr. から紅葉のメカニズムなど聴いている間に伊吹町小田（やないだ）分水に到着。昭和28年に整備された農業水利施設。小雨の降りだした分水から高月（長浜市）のケヤキ、八幡神社のケヤキ（木之本町大昔）クツワの森のイヌザクラ（木之本駅付近）と巡る。「大木も良いが、ここまで来ると“七本槍（地酒）”を観ておきたい」と言いながら、昼食は“ウッディーパル余呉”で頂く。ここには文字通り森に囲まれたコテージやキャンプ場などレジャー施設が作られている。昼食後、一宮のシラカシ（長浜市木之本）を訪れた。石道寺（しゃくどうじ）、鶏足寺の紅葉は小雨の中でも十分楽しめた。最後に、大雨の度に氾濫する余呉川の水を放水する為に岩を掘り抜いた西野水道（高月町西野）を通り抜けてびわ湖を眺め今回のツアーを終えた。







## 水辺の探検会

11月4日(日)

「今日は何種類の生き物が見つかるかな」と講師の上西先生から課題をいただき早速それぞれの河川へと向かった。吉川川 目田川 吉川川(下流) 堺川の4河川を選びどんな生きものが生息しているか 沢山見つけることができるか 3年生以上の子供たちとスタッフで水辺の草むらを網でござごそする。石をひっくり返してみると生きものが多く見つかる。事務所に帰り採取した生き物の仕分け作業を行う。小さな小さなごみのように見える生き物でも拡大モニターに写ると確かに生きている。様々な生き物の生命に驚かされた。子供たちは経験もあり上手く生き物を探すこともでき、知識も豊富だ。豊穰の郷の経験も含め次世代の環境リーダーに育ててほしい。

## 春が待遠しい

11月25日(日)

～これから田んぼで菜の花を育てます～

勝部の松明組の皆さんの協力で、秋の収穫を終えたばかりの豊穰の郷の田んぼに菜の花を植えました。春になると事務所の横は、黄色いお花畑になります。この菜種殻は、勝部の火祭りの松明(たいまつ)に使っていただけます。種も菜種油になるそうです。これから6月頃まで、地域の皆さんに教わりながら栽培と収穫を行います。

皆さんも、時々様子を見に来てくださいね。事務所の2階からの眺めは素敵だろうなと今から楽しみにしています。おいしいコーヒーを入れてお待ちしています。



## ほたるの森の仲間たち

～河川敷蛹化装置への思い～



昨年は飼育室における蛹化装置の上陸率が97%、羽化率では平均50%で過去最高水準の結果となりました。この経験から、できるだけ自然に近づく形で(距離的・環境的に)大きな蛹化装置(1m×2m)を製作して資料館横河川敷に沿うような形で設置しました。順調に育てば上陸状況の観察・記録も可能なので今から心をめくれています。多くの飛翔が多くの交尾につながり、産卵・生育・上陸・繭づくりへとつながれば幸いです。\*600頭の終齢幼虫で300頭の成虫飛翔を目標として資料館職員全員で取り組んでいます。

## 水辺の楽校

11月18日(日)

秋編

この日はぽかぽかと温かい日で、気持ちよく活動ができました。目田川のごみ拾い、自然観察ネイチャーゲーム、どんぐりのキーホルダーづくりと空飛ば種を作りました。そして参加者全員でカレーと焼き芋を食べました。スタッフの反省会で、参加者との親子と食事づくりを一緒にしたり、子どもにはもっと自由に遊ばせてあげたいという話ができました。それには見守るスタッフの数がもう少し必要です。ぜひ次の水辺の楽校にはまだ今年度活動に参加をしていない会員の方に来て欲しいと思っています。自由に生き生きと水辺で遊ぶ子ども達を見守りませんか?

参加者の声:『春の野草の天ぷらとか以前に参加させてもらった時、すごく良かったのでまたあると嬉しいです。』『子どもが意外にもゴミ拾いが好きで、なんだか嬉しくなりました。』という感想をいただいています。リピーターが増えていることも嬉しいです。

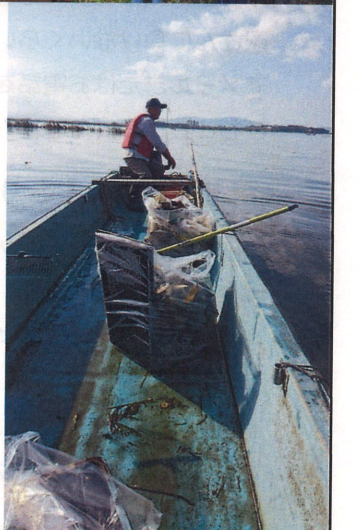


## 湖岸清掃活動

11月10日(土)

～赤野井湾に浮かぶ「ごみ」に思う～

目の前にプカプカ浮かぶペットボトルや空き缶、レジ袋。守山市主催の湖岸清掃運動に参加し、漁船から赤野井湾を眺めた時の光景です。漁船を操作する船頭の漁師さんに何うと、最近だんだん増えているように感じるとおっしゃいます。これらのごみはこの赤野井湾で捨てられたものの他、最近では流入河川からのものも多いそうです。確かに家庭ごみや農業用の肥料の空き袋などもあります。「毎日魚よりぎょうさん取れるで。」6月に赤野井湾再生プロジェクトで行った湖底ごみの回収作業でも、河川から流れ込み、堆積した何年も前のプラスチックごみが短時間で大量に引き上げられ驚きました。「(川)上の人らはこらのごみは関係ないと思とんにやろな。ちょっとぐらいほかしてもかまへんと思とんにやろか。」水環境保全に取り組み、マイクロプラスチックの話なども子どもたちにしては私たちがですが、どうすればこのようなごみの減量に繋ぐことができるのか、深く考える活動となりました。



## 第17回 世界湖沼会議 in つくば

10月15日(月)～19日(金)

2018年10月、17回目を迎える世界湖沼会議が茨城県つくば市で開催され、びわこ豊穰の郷から8名の会員が参加しました。16日には金崎理事長が『次世代に残そう「ふるさとの水辺」』という題名で、当法人で管理する目田川河川公園での保全活動や環境学習、このような水辺を次世代に繋げるための工夫、現在直面している慢性的なスタッフ不足などの問題点について発表し、この分科会で発表した他の市民団体からも共感の声が出ていました。他にもこの湖沼会議に参加した8名で分担し色々な分科会に参加しました。今後の活動に生かせるように、近々にそれぞれが得た情報交換と共有のためのミーティングを予定しています。

